

2021年3月12日

株主各位

東京都千代田区丸の内一丁目8番3号
株式会社アウトソーシング
代表取締役会長兼社長 土井春彦
(コード番号：2427 東証第一部)

第24期定時株主総会の第2号議案に関する補足について

当社は、2021年3月25日に開催予定の第24期定時株主総会（以下、「本定時株主総会」という。）の第2号議案（定款一部変更の件）について、議決権行使助言会社であるInstitutional Shareholder Services Inc.（以下、「ISS社」という。）が、反対推奨を行っている旨の情報を入手いたしました。

つきましては、当該議案に関する当社の見解を十分にご理解いただきたく、下記のとおり補足でご説明申し上げます。

記

ISS社は、今回の定款の事業目的変更により、コアビジネスでない、すべての合法的な事業に関して取締役会に事実上白紙委任を与えることとなり、マネジメントの時間やリソースが割かれることになりかねないため、株主の利益とならないと懸念されることを反対推奨の理由としています。

当社は、主要事業である人材サービス事業において、これまで国内外におけるシナジー性の高い企業とのM&A戦略により事業規模の拡大を図ってまいりましたが、グローバル展開が拡大する中、子会社が人材サービス事業を行う対象事業領域が多様化しており、今後につきましても、その領域がさらに拡大する可能性があります。今般の第2号議案（定款一部変更の件）は、このことを踏まえて、事業機会を逸することなく的確に捉え、迅速に対応することを目的としてお諮りするものであり、当社と子会社の事業領域から大きく離れた大規模な新規事業を開始する意図ではないことから、ISS社のガイドラインに定める定款変更議案の目的事項の変更における反対推奨事由（あらゆる事業分野への参入を求める場合）にあたらないと判断しております。

また、第2号議案（定款一部変更の件）において、同じく現行定款第19条（取締役の員数）について、取締役（監査等委員である取締役を除く。）の員数を10名以内から15名以内に変更することも併せて本定時株主総会にお諮りしておりますが、これは当社グループの拡大に伴い、今後のグローバル規模での事業展開の促進、コーポレートガバナンスの一層の強化、経営基盤の充実強化に備えるとともに、取締役会における多様性を推進し、経営監督機能の強化を図ることを目的としております。

加えて、本定時株主総会の取締役選任議案において、新たにAnne Heraty氏を取締役候補としてお諮りしておりますが、同氏はM&Aにより当社グループに加わったCPL RESOURCES PUBLIC LIMITED COMPANY（2021年3月下旬に商号を「CPL RESOURCES LIMITED」に変更予定）のCEOを務めており、当社グループにおけるダイバーシティの推進とグローバル体制でのガバナンスの強化に大きく貢献する人材として期待しております。

当社は本定時株主総会で取締役選任議案が原案どおり承認された場合も、取締役11名中7名が社外取締役（うち6名が東京証券取引所に独立役員として届け出）であり、引き続き独立性の高い取締役会での議論が可能な体制を敷いてまいります。

このように、本定時株主総会にお諮りした議案は、いずれも当社のM&A戦略に基づくグローバルな事業展開において不可欠なものであり、当社の企業価値を毀損する懸念はないと考えております。

株主の皆様におかれましては、当社の上記見解にご理解を賜りますようお願い申し上げます。

以上